IT検証技術者認定知識試験、2011年春期を東京・大阪・名古屋・北海道の4会場で実施

IT検証業界の発展を目指す一般社団法人IT検証産業協会［略称 IVIA（アイビア）: IT Verification Industry Association］は、IT検証技術者認定試験［略称 IVEC（アイベック）: IT Verification Engineer Certification］の2011年春期知識試験(ペーパー試験)を、来る4月24日(日)
東京、大阪、名古屋、札幌の4会場にて実施します。受験申し込みをIVIAのWebサイトにて受付け開始しており、申込み〆切りは3月30日(火) です。
http://www.ivia.or.jp/ivec/youkou.html

また、IVIAは、協会内に新しく「IVEC事業部」を設立して、IVEC試験運営組織を強化しました。これにより、IT検証技術者の育成と、スキルレベルの公正な評価基準としてさらに広く普及させるために、技術者を育成する情報系大学や専門学校、ならびに組み込みをはじめとする関連業界の協会、団体などに対するIVECの説明・告知などをさらに強化していきます。

IVECは、検証技術者の育成、検証スキルの明確化、検証技術者の地位向上などを目的とし、業界に広く通用する公的資格を目指しています。実務スキルを重視しているのが特長で、知識試験に合格した後、所定の実務トレーニングを修了すると認定資格を取得できます。

知識試験は1年に2回
春と秋に実施され、テストケースの設計から実行、プロジェクト管理などに必要な知識に関する問題がレベルに応じて出題されます。実務トレーニングは、IVIAの認定ベンダにより行われ、教育研修シラバス(学習計画)に沿った実習・演習が中心となります。

2007年の第1回から過去8回の知識試験の受験者数は約2,750名で、既に約1,500名が合格し、その内約330名が実務トレーニングの修了試験に合格しています。

IVIAでは、IVECの業界における認知度を高めることにより、開発・製造を行う企業が、社内の技術者や第三者検証サービス会社に検証業務を任命する際の指標として、また、技術者にとっては、検証に関する知識を蓄えてスキルを研鑽する際の目標として広く普及させていく計画です。

◆ IT検証技術者認定試験 2011年春期 知識試験について

試 験 日：2011年4月24日（日）
試験会場：東京/ 大阪 / 名古屋 / 札幌

試験区分：レベル 1～4

受 験 料：レベル1 / レベル2 （エントリーレベル） 10,500円(税込)
レベル3 / レベル4 （ミドルレベル） 15,750円(税込)

試験内容：レベル1 / レベル2 60分間/マークシート方式(40問4者択一)

レベル3 / レベル4 90分間/マークシート方式(60問4者択一)

受験資格：不問
受験申込：Webサイトから http://www.ivia.or.jp/ivec/youkou.html
申込期限：2011年3月30日(水)

※IVECでは、検証技術者のスキルレベルをエントリーレベル(レベル1・2)、ミドルレベル(同3・4)、ハイレベル(同5～7)の7段階に分けており、今回はエントリーレベルとミドルレベルを実施します。

※目標とする資格レベルごとに学習のポイントなどを的確に理解できる教育研修シラバス(学習計画)をWebサイトで無償公開しています。
・エントリーレベル(レベル1 ・2相当) http://www.ivia.or.jp/ivec/syllabus_entry102.pdf
・ミドルレベル(レベル3 ・4相当) http://www.ivia.or.jp/ivec/syllabus_middle101.pdf

※IVEC知識試験に向けた学習用に公認テキスト
IT検証技術者認定試験 IVEC 知識試験 テキスト（エントリーレベル/ミドルレベル）
編 著 ：IVEC知識試験テキスト制作委員会
監 修 ：倉田克徳、藤井洋一
価 格 ：2,500円
出版元 ：株式会社BCN

◆ IT検証技術者認定試験 実務トレーニングについて

認定機関：
株式会社ヴェス（エントリーレベル、ミドルレベル）
http://www.ves.co.jp/ivec.html

日本ナレッジ株式会社（エントリーレベル、ミドルレベル）
http://www.know-net.co.jp/ivec/

株式会社テクノアスカ（エントリーレベル、ミドルレベル）
http://www.t-ask.co.jp/Service/IVEC_top.html

※実施日時：場所は認定機関ごとに異なります。

※IVIAでは、IVIA会員企業に限らず、外部の研修機関、一般企業/団体に対して認定・委託し、実務トレーニングの実施機関を拡充する計画です。

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com